

第 17 回宇和島市子ども・子育て会議議事録

開催日時

平成 30 年 9 月 5 日(水) 13:30~14:30

開催場所

宇和島市役所 6 階 602 会議室

出席者

(委員) 天野委員・藤原委員・鹿島委員・渡部委員・廣瀬委員・毛利委員・
吉川委員・松廣委員・武田委員・中平委員
(※欠席: 山田委員・寺坂委員・松島委員)

(行政関係) 教育委員会 上田部長
教育総務課 横山課長
学校教育課 野田課長
生涯学習課 富田課長
保険健康課 毛利課長

(事務局) 保健福祉部 岡田部長
福祉課 古谷課長・富永課長補佐・大江係長・酒井係長

議 事

平成 31 年度に事業形態を変更予定の施設について
平成 31 年度特定教育保育施設の利用定員について

そ の 他

平成 30 年 7 月豪雨災害による被害状況について(報告)
市立喜佐方保育園の休止について(報告)

会議経過

1 開 会

新委員の紹介
定足数の確認
第 16 回会議録の確認

2 議 事

(1)「平成 31 年度に事業形態を変更予定の施設について」(資料 1)、(2)「平成 31 年度特定教育保育施設の利用定員について」(資料 2)、事務局(福祉課)より説明

[質疑応答・意見]

委員：伊吹幼稚園や八幡幼稚園が認定こども園化により3歳未満児の保育分の利用定員を増やすのは全体として適当なことなのか。

事務局：就学前児童数は減少傾向にあるが、3歳未満児の保育ニーズは横ばい状況にあり、かつ、旧宇和島地区だけ抜粋すれば、一部の保育所においては、利用定員を超える児童の保育を行っている状況にあり、明らかに3歳未満児に対する保育供給量が不足しているといえるため、両施設がそれを補ってもらえるものと考えている。

会長：現に、私立保育園においては、人員や保育室面積等の問題で3歳未満児のお申込があっても残念ながら受け入れることが出来ない状況がある。特に、0・1歳児についてはお待たせすることが多いので、伊吹幼稚園や八幡幼稚園の保育参入による3歳未満児の受け入れについては効果があるのではないかと考える。

委員：しかしながら一方で、これまで利用定員を超えた園児数を受け入れてきた施設としては、園児数が減少する恐れがあり、それがひいては保育士の雇用継続に影響しはしないか。

事務局：各法人は、従来から、一定の条件のもと利用定員を超えた園児数を受け入れすることができるが、恒常的な超過は認められていないことを認識し、受け入れ児童数とそれに相応した職員雇用を計画的に行っている状況にある。

委員：とはいえ、利用定員を超えて児童を受け入れるということは、それだけ人気があり、保育士の数や面積の余裕があるのであろうから、そういった保育所は、過年度の児童数の実績から、認可定員も利用定員も増やしたらいいのではないか。

事務局：ご意見のとおりであるが、事業者からそのような定員の変更申出が無い状況である。

3 その他

(1)「平成31年度に事業形態を変更予定の施設について」(資料1)、(2)「平成31年度特定教育保育施設の利用定員について」(資料2)、事務局(福祉課)より説明

[質疑応答・意見]

委員：喜佐方保育園の休止について、保護者へ説明をされたということだが、どのような反応だったのか。

事務局：まず、休止については、園舎内の被災状況等からやむを得ないといった反応であり、反対や特段の意見は無かった。園舎の解体を検討していることについても触れたが、このことについても保護者だけでなく地域関係者からも異論は無かった。

委員：今回の災害を受け、全体として、新施設の建設や既存施設の継続使用について考えは変わったか。

事務局：「教育保育施設等整備計画」において示している新施設の建設予定地は、これから検討段階で未定であるので、今回の災害をもとに安全性の確保を重視し慎重に用地選定を進めていかななくてはならないと考えている。また、それは既存施設のあり方についても同様である。

委員：大浦保育園は、現在地では浸水する以上、高台へ園舎を建設し移転することについては評価できると考える。私立施設ではあるが、伊吹幼稚園は4階建てになるのはどのような理由によるものか。

事務局：認可定員(利用定員)を満たす施設にするための面積基準等をクリアするには、土地の条件から、結果的に4階建てになったということである。

委員：伊吹幼稚園の改築予定地も浸水区域にあり、そのような場所への建設をすることや、4階建てという高さから、児童の安全性の確保等に留意してほしい。

[議事・報告等以外の事項]

○会議資料の事前配付について

委員：次回より、事前に資料配付をしてほしい。会議までに目を通して出席したい。

事務局：了解した。

○うわじま土曜塾について

事務局：前回の会議において、うわじま土曜塾について、委員からいただいた、「学習面以外でも、児童生徒が抱える事情や問題等に向き合えたら」というご意見を参考に、スタッフマニュアルにおいてそのことに関する項目を加え、研修を重ねておりますことをここにご報告する。

また、当事業について、昨年度のアンケート結果において、約8割が「学習時間が増え、学校の授業がわかるようになった」と肯定的な意見であったため、一定の効果があつたと解し、今年度はさらに、学習以外の面においても土曜塾に通うことで得られたものがあるかどうか調査したいと考えている。

委員：前回の事業のご説明を機に、直接現場を見学させていただき、子どもたちの様子を見てみると、土曜塾の効果を感じられたので、さらに、より充実した内容の事業にしていきたい。

○平成30年7月豪雨災害による職員に対するケアについて

委員：このたびの被災に際し、学校や保育園など、施設職員の疲労もピークに達しているものと思われるので、健康面等や業務の負担軽減について配慮してあげてほしい。

事務局：了解した。